岳南朝日
岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1
代　表（0544）28-0200
ＦＡＸ（0544）28-0218
編　集（0544）28-0234
営　業（0544）28-0220
月977円　1部60円

富士宮市議会6月定例会

一般会計補正予算など可決

9100万円を減額

開会5日目を迎えた富士宮市議会6月定例会は19日、本会議を再開し、初日の本会議で説明を受けた2018年度一般会計補正予算（第1号）など議案7件を審議。いずれも原案通り可決した。18年度一般会計補正予算は9100万円を減額し、補正後の額を歳入歳出それぞれ420億4900万円とした。

市一般会計補正予算のうち、歳入は国庫支出金460万円、市債8640万円をそれぞれ減額。いずれも歳出に関連した特定財源となっている。歳出では職員厚生事業において昨年度、通勤途中の市職員が死亡した交通事故が通勤災害として認定されたことに伴い、市職員公務災害等見舞金支給条例に基づき、遺族に対して支給する死亡見舞金として150万円を追加。老人福祉施設整備費補助金および障害者福祉システム修正委託料には1300万円を充てた。

このほか、地震対策事業における市立大富士小学校屋内運動場耐震補強工事費では1億5200万円を減額。これは国の17年度補正予算を受け、17年度2月補正予算で事業の前倒し実施が措置されたことに伴うもの。

また、予備費に330万円を追加し調整したほか、清掃センター工場棟外壁等改修工事費について債務負担行為を追加した。

新たな名物コンペ表彰式

5事業所・団体に認定証など

富士宮市の新たな名物となる商品（お土産）を応援する「それ、みやげにして宮！　名物コンペ」の表彰式が18日、同市役所1階市民ホールで開かれた。応募のあった12件の中から最高位の奨励大賞をはじめとする各賞に選ばれた5事業所・団体に対して認定証と奨励金、認定シールが授与された。また、ホールにはPRブースが設けられ、受賞者たちが来庁者や市職員に受賞商品をPRした。

新商品の開発や既存商品の改良、パッケージのリニューアルなど「富士宮市のお土産を応援したい」「富士宮の名物を広く情報発信したい」との思いから富士宮名物推進委員会（小川登志子委員長）が企画した取り組みで、昨年度に引き続き2回目の実施となった。

今回は12件の商品が寄せられ、小川委員長をはじめとする委員5人が商品の将来性や魅力、パッケージデザイン、味などを基準に審査。最高位の奨励大賞にフルーリス洋菓子店の『富士のみや月』と㈱もちのきの『ほろほろクッキー（お茶）』が選ばれたほか、奨励賞に㈱あさひ・多機能型支援施設あゆみ園の『光る富士山パズル』とホーミーコスメティックス㈱の『ふじのふもとの姫 beauty Minela Soap（ミネラソープ）』、特別賞に富士宮高校会議所の『お茶まん・マスコロ富士山・マスマヨバーガー』がそれぞれ選出された。

認定証を受ける奨励大賞のフルーリス洋菓子店（上）ともちのき

あいさつした須藤秀忠市長は「お土産は家族や友人、職場の仲間と語り合い、旅先での経験を共有する物であり、富士宮を印象付ける重要な観光ツールになる。今回は味や見た目にも配慮した素晴らしいお土産が選ばれた。富士宮市の新たなお土産として定着していくことを期待している。今後も富士宮の土産のブランド力の向上と地域に誇れる土産作りに尽力いただき、市の観光振興につなげていただきたい」と呼びかけた。

総評した小川委員長は「昨年開館した富士山世界遺産センターには25万人以上の人が訪れており、この人たちは必ず何か買って帰りたいと思っている。そういった人たちの心をくすぐるような商品を開発し、富士宮をどんどんPRしていってほしい。より良い富士宮のお土産を届けていけるよう取り組んでいきたい。協力をお願いします」などと述べた。

受賞商品は特典として、今後1年間にわたって公式ウェブサイト特設ページやインスタグラム・フェイスブック等の公式SNSで紹介される。

富士製紙災害防止協が安全大会

7事業所に無災害記録証授与

富士製紙災害防止協議会（内田久稔会長）による製紙業安全大会が18日、ラ・ホール富士で開かれた。前副会長の三枝孝夫さんに功労者表彰が授与されたほか、静岡労働局から富士・富士宮両市内7事業所に無災害記録証が授与された。

同協議会は1991年に労働災害が多発したことをきっかけに富士、富士宮両市内のパルプ、紙、紙加工製造業で92年に結成。安全衛生やリスクアセスメントなどの研修を通し、職場の安全確保と労働災害防止に取り組んでいる。安全大会は毎年、全国安全週間（7月1～7日）に合わせて行っている。

無災害記録証を授与される事業所

功労者表彰を受ける三枝さん

あいさつに立った内田会長は「91年は労働災害が102件もあったが、協議会が結成された年には76件に減少した。昨年は会員39事業所で労災事故ゼロ100日の達成率が59・1%となった。これからも1件でも労災を減らし、今日の大会で学んだことを生かしてほしい」と述べた。

席上、7月1日から10月8日までの100日間を「労災事故ゼロ100日運動」期間とする活動について説明された。同協議会会員が労働災害に歯止めをかけ、同運動期間中の労災事故絶滅を目指す。

同日記録証を受けた事業所は2年から18年にわたり、無災害の記録年数を数えている。

また、富士労働基準監督署安全衛生課長の工藤直也さんが製紙業の労働災害防止について講話。昨年の労働災害による死傷者数は50件で、はさまれ・巻き込まれが27件、一般動力機械を要因とする労災が24件あったことを報告した。

さらに、こころ元気研究所の鎌田敏所長が「ゼロ災へ向けての職場の空気づくり―安全意識と行動、組織活性化」と題して特別講演を行い、人間関係の大切さなどを説いた。

最後には一人一人が意識を強く持ち、労働災害防止に取り組んでいくことを盛り込んだ大会宣言が採択された。

無災害記録証が授与されたのは次の事業場。カッコ内は記録年数と無災害延べ労働時間。

▽丸井製紙㈱家庭紙工場（2年、22万時間）▽大宮製紙㈱富士工場久沢事業所（2年、33万時間）▽富士共和製紙㈱（2年、36万時間）▽大宮製紙㈱富士工場鷹岡事業所（3年、25万時間）▽日本製紙パピリア㈱原田工場（3年、83万時間）▽特種東海エコロジー㈱（4時間、85万時間）▽北越東洋ファイバー㈱静岡工場富士工務部（18年、107万時間）

購読申し込み先
●富士宮（0544）
鈴木新聞店 ☎(26)3285
中野新聞舗 ☎(23)3333
勝亦新聞店 ☎(26)1100
SHC南部販売 ☎(26)2543
中西新聞店 ☎(28)1133
●吉原（0545）
植草新聞店 ☎(52)0370
鈴木新聞店 ☎(52)5503
星野新聞堂 ☎(52)0376
●富士（0545）
雨森新聞舗 ☎(61)5049
田畑新聞店 ☎(61)0011
星野新聞堂 ☎(61)0275
●鷹岡（0545）
安倍新聞店 ☎(71)3327
SHC鷹岡販売 ☎(71)8156
望月新聞店 ☎(71)2647
●富士川（0545）
石井新聞店 ☎(81)1333
佐野新聞店 ☎(85)2093

有限会社マルモ食品工業
富士宮市弓沢町二三五番地
☎〇五四四二七二九五四㈹

募集
葬祭スタッフ（正）
式場準備、ご案内
女性活躍中
月給/15.5～18万円
休日/月7～8日（交代制）
委細面談
「いやし」と「やさしさ」の
藤原葬祭
TEL(0544)26-3840

自動車図書館 ひばり号

▽20日＝富士根保育園（9時45分～10時15分）粟倉分校（10時～10時30分）三ツ矢東保育園（10時35分～11時）富士見ケ丘集会所（13時45分～14時15分）富士見小学校（14時30分～16時）上井出小学校（14時30分～15時30分）